



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 518 (2020. 11. 30)

<今週のトピックス>

今年のクリスマスはいつもより豪華

今年（2020年）は、いつもより、クリスマスの飾り付けが豪華になりそうです。アメリカでは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長引くなか、州によっては夜の時間帯に外出禁止令が出たり、大人数での集会在禁止されたりと、必然的にひっそりと自宅で家族と過ごす時間が多くなっています。

以前のトピックでも、夏の季節は、プールやプライベートシアターを設置して、裏庭を充実させる人たちについて、取り上げましたが、今回は、冬の季節（クリスマスシーズン）についての話題を取り上げてみます。

【クリスマスの飾り付け】

この記事を書いているのは、11月末ですが、すでにクリスマスのイルミネーションを飾り付けしている家を見かけます。新型コロナウイルスの影響で、自宅にこもって長い時間を過ごすなか、クリスマスの飾り付けに没頭する人が増えているようです。今年は、家族だけでなく友人を集めて、賑やかなパーティーをすることができないため、クリスマスの飾り付けを思う存分楽しみ、心温まるクリスマスシーズンを迎えたい人が増えているようです。



(左の写真：一般家庭の飾り付け、右の写真：観光地にもなっているブルックリンの飾り付け)

【クリスマスツリー事情】

アメリカの慣習として、自然のクリスマスツリーを切りに行き（Cut your own Tree）、それを車に乗せて、家に持ち帰る人が結構居ます。今年は、例年より早い時期から、クリスマスツリーを屋根に乗せて運んでいる車を見かけます。



また、数週間も早く、飾り付けを始めているため、人工のクリスマスツリーの売れ行きにも拍車がかかっているようです。オンラインでツリーを販売するウェブサイト「Treetopia（ツリートピア）」によると、11月15日までに注文されたツリーの本数は、前年比50%増だったようです。大手チェーンのホームセンター「HOME DEPOT（ホームデポ）」では、例年より3週間早いペースで人口ツリーが売れているようです。今年のクリスマス商戦による売上は、全体として好調が予想されていますが、クリスマスツリー一つを取っても、期待ができそうです。

【クリスマスツリーの中にフクロウが】

クリスマスツリーで、今年もっとも話題になったのが、世界で一番有名なロックフェラーセンターの巨大クリスマスツリーの中から見つかったフクロウの赤ちゃんではないでしょうか。クリスマスツリーの作業員が発見したのですが、空腹と脱水状態だったそうです。今年のツリーは、ニューヨーク州のアップステート、オニオンタという場所から運ばれてきたそうで、単純距離で170マイル（約270キロ）を移動してきたこととなります。



フクロウは、野生保護団体の治療を受け、無事、野生に帰っていったようです。そのフクロウは、発見場所にちなみ、「ロックフェラー（通称：ロッキー）」と呼ばれていました。なお、今年のロックフェラーのクリスマスツリーの点灯式は、無観客で行われ、その後、ツリーを観る時間も5分間だけのようです。

トピックの最後に、ロックフェラーセンターを所有する Tishman Speyer の President / CEO である Rob Speyer 氏の声明がとても印象的でしたので、書き残しておきたいと思います。

「今年は、クリスマスツリーが不可欠だと感じている。ロックフェラーセンターのクリスマスツリーは、いつの時代もホリデーシーズンを代表している。

それは、希望、復興、そして、ニューヨークの不屈の精神の象徴として、高くそびえ立っている。大恐慌から 911（アメリカ同時多発テロ事件）、スーパーstorm・サンディから今日に至るまで。

2020 年は、困難な一年になっている。でも、ニュー Yorker はそれを我慢してきた。

我々は、もっと良く、さらに強くなって戻ってこれることを確信している。

そして、今年もこの祝福すべき伝統行事を続けられることを大変光栄に思っている。」

※ロックフェラーのクリスマスツリー（点灯式）は、1929 年の大恐慌後の 1931 年に開始され、今年で 88 回目になるようです。当時は 6 メートルほどのツリーでしたが、今年のツリーの高さは 23 メートル（重さ 11 トン）



（出所：AP News, New York Post, Wall Street Journal, Department of Agriculture）

- ・本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- ・本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- ・本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。